

令和 6 年度

運営に関する計画

<最終評価>



大阪市立横堤中学校

令和 7 年 2 月

(令和 7 年 2 月 7 日 職員会議版)

令和6度 大阪市立横堤中学校 学校運営の重点

社会とつながり、地域から信頼され、自立と協働の力を育む学校

—よりよい学びを創り出すカリキュラム・マネジメントを通して—

1 基本方針

- ・社会とのつながりを生かし、誰一人取り残さず、安全で安心して過ごせる学校をめざす。
- ・子ども最善の利益のもと、充実した教育活動を進め、地域から信頼される学校をめざす。
- ・社会的に自立しながら、課題の解決に向けて他者ともに協働する力を育む学校をめざす。

2 「自立と協働の力」を育む学校づくりをめざして

- ・人権尊重を基盤に、一人ひとりのキャリア発達を柱にした教育を深化・充実させる。
- ・「授業づくり・集団づくり・習慣づくり」を一体的に進め、それぞれの質を向上させる。
- ・保護者・家庭、地域、小学校、関係諸機関等と連携・協働した教育活動を進める。

3 成長し合える「つながり」をつくる

(1) 「見える化」による情報共有

積極的な情報発信を通して、オープンで、風通しがよく、働きやすい職場にする。

(2) 「凡事徹底」による行動連携

誰にでもできることを、誰にでもできないぐらいに続け、率先垂範で子どもを動かす。

(3) 「コミュニケーション」による目線合わせ

学校や学年、学級、教科、分掌等の方針を共有し、みんなで協力しながら達成する。

4 育みたい学校文化 —3つのC—

(1) 協働の学校文化 <Collaboration>

学校の内外に、サポートし合う協働関係を築き、横堤のチーム力を進化・充実させる。

(2) 挑戦の学校文化 <Challenge>

子どもを支え、伸ばし、鍛えるために、前例がないことにも積極的にチャレンジする。

(3) 創造の学校文化 <Create>

個と集団の強みを生かし、相互に知恵を出し合いながら、価値のある実践を作りだす。

5 日常的な危機管理体制の構築

(1) 子どもの危機への対応

いじめ、不登校、SNSトラブル、虐待等への未然防止、早期発見、早期対応に努める。

(2) 大人・組織の危機への対応

ストレスマネジメント、コンプライアンス、ハラスメント等、危機の防止に努める。

(3) 社会の危機への対応

災害や感染症対策等に関係諸機関と連携した機動的な対応に努める。

大阪市立横堤中学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和 2 年度より続いている新型コロナウイルス感染症も一定の収まりをみせ、ようやく 1 年が過ぎようとしている。この 3 年間の経験をいかし、これから未来を切り拓く生徒を育成するため、コロナ禍以前の学校運営と、コロナ禍での学校運営を整理した、「令和型の学校運営」を進めていく必要がある。新たな価値観と豊かな発想力をいかして、学びの方向性を定めながら、新しい学力観にたった教育の推進を図っていかなければならない。一方で、生徒たちは、感染拡大防止対策による様々な自粛や制限で、現在もなお不安やストレス、孤立感や孤独感を持つなど、心身において傷ついた生徒も多く、今後も継続した身体的・精神的なケアを必要としている。

このような状況の中で、生徒たちは、新しい生活習慣に対応し、更に、昨年度より本格的に再開された普段の授業、部活動、生徒会活動等に対して、意欲的に、また熱心に取り組む姿をみせていた。修学旅行や体育大会等の学校行事も、従来の形にこだわらず、新たな取り組みを進めていくなど、積極的に生徒が協力しあい、大きな成果を上げることができた。このことは、手間を惜しまず、生徒が安心して過ごせる環境を整え、一人ひとりをきめ細かくケアし、リードし続けている教職員の努力の賜物である。

今年度も「大阪市教育振興計画」に基づく教育活動の推進や、「教育情報学習者用端末等、ICT を効果的に活用した教育活動の推進」、「小中が連携した教育活動の深化・充実」等、様々な課題に挑戦していくことが求められている。ICT をツールとして活用し、「個別最適化された学び」が進められる一方で、人と人が直接出会い、対話とコミュニケーションを重ねながら、「協働的な学び」を深めていくことがより一層重視される。カリキュラム・マネジメントを通して、質の高い教育活動を開拓することを通して、生徒が自立的に考え、多様な他者と協働しながら問題や課題を解決する力、探究する力を育んでいきたいと考えている。また、自らの意思を発信する力の育成のため、「言語活動の充実」にも重点的に取り組みたい。

本校の継続的な課題は、「不登校生徒の増加」である。隣接する横堤小学校と「一小一中」の関係にあり、児童生徒の固定化した人間関係による困難さもある。生徒・保護者との信頼関係を構築し、関係諸機関と連携する等、「子どもの声」を受け取り、早期対応を行い、また、不登校の未然防止に向けた積極的な取り組みも進めたい。いじめ問題対応の更なる充実のため、いじめの早期発見、早期対応についても、組織的に取り組んでいきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 7 年度までに生徒対象の校内調査において、「学校に行くのは楽しいと思う」の項目について肯定的回答をする生徒の割合を 90% 以上にする。
- 令和 7 年度までに生徒対象の校内調査において、「人の役に立つ人になりたいと思います」の項目について肯定的回答をする生徒の割合が 80% 以上にする。
- 令和 7 年度末の不登校生徒の在籍比率を令和 3 年度 (4.37) より低くする。
- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について肯定的回答をする生徒の割合が令和 3 年度 (80.3%) より向上させる。
- 令和 7 年度までに生徒対象の校内調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思います」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する割合を 75% 以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度まで、「中学生チャレンジテスト」における対府比を前年度よりあげていく。
- 令和7年度の「大阪市英語力調査」におけるC E F E A 1 レベル（英検3級）相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を70%以上にする。
- 令和7年度に生徒対象の校内調査において、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしていることができている」の項目について肯定的回答をする生徒の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の「全国体力、運動能力・運動習慣等調査」における体力合計点を全国平均以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度に「授業日において学習者用端末を使用した割合」を80%以上にする。
- 令和7年度にデジタル教材を活用した朝学習を週2回以上実施する。
- 令和7年度に生徒対象の校内調査において、「ICT機器を利用した授業において自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている」の項目について肯定的回答をする生徒の割合を85%以上にする。
- 令和7年度までに「ゆとりの日」を月1回以上設定し実施する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標(全市共通目標を含む)

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を81%以上にする。R5=80.3%
- 前年度不登校生徒の改善の割合を前年度(68.8%)より増加させる。
改善とは…
 - ①出席日数の増(学校内外でICT等を活用した学習活動をすることの出席認定を含む)
 - ②ICTの活用による、本人・保護者と学校がつながる回数が増えた。
 - ③養護教諭、SC、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。

学校園の年度目標

- 校内調査において、「学校に行くのは楽しいと思う」の項目について肯定的回答をする生徒の割合を80%以上にする。
- 校内調査において、「人の役に立つ人間になりたいと思います」の項目について肯定的回答をする生徒の割合が80%以上にする。
- 全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について肯定的回答をする生徒の割合が82%以上にする。
- 校内調査において、「学校では、よりよい集団生活が送れるように、様々な取り組みが行われている(生徒対象)」「学校は、様々な教育活動を通して、望ましい集団生活づくりに努めている(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答を、いずれも85%以上にする。
- 校内調査において「私は、学校生活において定められたルールや規則、マナーを自ら進んで守っている(生徒対象)」「学校は、生徒に、ルールや規則、マナーを進んで守るように指導している(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答の割合を、いずれも85%以上にする。

- 校内調査において、「学校は、教育活動の様子について、ホームページや通信等で積極的に情報発信している(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答の割合を90%以上にする。
- 校内調査において、「学校は、いじめや暴力がない学校づくりに積極的に取り組んでいる(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対応比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05 ポイント向上させる。

R 5⇒2年 :【国語】1.08 【数学】1.15 3年 :【国語】1.13 【数学】1.17

- 大阪市英語力調査におけるC E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合(4技能)を71%以上にする。R5=70.1%
- 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きである」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を60%以上にする。

R 5=59.5%

学校園の年度目標

- 全国学力・学習状況調査の国語における思考・判断・表現に関する項目の平均正答率を前年度より2%増加させる。R5=70.9%
- 校内調査において、「授業の内容はわかりやすく、興味や関心、学習意欲が高まるように工夫されている(生徒対象)」「学校は、興味や関心が高まるような授業づくりに努めている(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答の割合をいずれも80%以上にする。
- 「全国体力、運動能力・運動習慣等調査」における体力合計点を全国平均以上にする。
- 校内調査において、「学校では、健康管理や体力向上に向けた取り組みを進めている(生徒対象)」「学校は、生徒の健康管理や体力向上に向けての指導に努めている(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答の割合をいずれも75%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標

- 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の90%以上にする。(ただし、学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。

学校園の年度目標

- ゆとりの日を月に1回以上設定して実施する。
- 校内調査において、「学校では、ICT機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている(生徒対象)」「学校では、ICT機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答の割合をいずれも80%以上にする。

2 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標～年度目標について

- 校内調査「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、最も肯定的な「思う」と回答した生徒の割合は 82.5%で目標を上回った。「まあそう思う」を加えると 97.1 %の生徒が肯定的な回答をした。
- 今年度の不登校生徒数は 22 名で、在席(279 名)比率は 7.9%で、昨年度(8.1%)より改善している。
- 前年度から継続した不登校生徒のうち、今年度改善傾向にあった生徒は 11 名である。担任を中心に、学年や関係諸機関との連携など、組織的な対応によって、少しづつ登校へつなげていくことができた。

学校園の年度目標

- 校内調査「学校に行くのは楽しいと思う」に対して、肯定的回答をした生徒の割合は 83.7%で目標を上回った。
- 校内調査「人の役に立つ人間になりたいと思います」に対して、肯定的回答をした生徒の割合は 95.0%で目標を大きく上回った。
- 全国学力・学習状況調査における質問紙で「自分にはよいところがあると思いますか」に対して肯定的回答をした生徒の割合は 90.5%で目標を上回った。
- 校内調査「学校では、よりよい集団生活が送れるように、様々な取り組みが行われている」に対して肯定的回答をした生徒の割合は 93.7%、「学校で、様々な教育活動を通して、望ましい集団生活づくりに努めている(保護者対象)」に対して肯定的回答をした保護者の割合は 95.6%と、いずれも目標を大きく上回った。
- 校内調査「私は、学校生活において定められたルールや規則、マナーを自ら進んで守っている」に対して肯定的回答をした生徒の割合は 95.8%、「学校は、生徒にルールや規則、マナーを進んで守るように指導している」に対して肯定的回答をした保護者の割合は 95.5%と、いずれも目標を大きく上回った。
- 校内調査「学校は、教育活動の様子について、ホームページや通信等で積極的に情報発信をしている」に対して、肯定的回答をした保護者の割合は 97.8%で目標を上回った。
- 校内調査「学校は、いじめや暴力がない学校づくりに積極的に取り組んでいる」に対して肯定的回答をした保護者の割合は 94.0%と、目標を大きく上回った。

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標～年度目標について

- 校内調査「学級の生徒との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して肯定的な回答する生徒の割合は 82.1%で、目標の 85%を達成することができなかつた。

- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の、同一学年での対府比は3年で国語が1.163(昨年度より+0.028)、数学が1.169(昨年度より-0.05)という結果であった。
- 大阪市英語力調査における、CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する3年生の割合は65.12%と、目標を達成することはできなかったが、大阪市平均の57.5%に対しては7.62ポイント上回っている。
- 校内調査「運動(体を動かす遊びを含む体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きである」に対して、最も肯定的な「思う」と回答した生徒の割合は63.3%で目標を上回った。

学校園の年度目標

- 全国学力・学習状況調査の国語における「思考・判断・表現に関する項目」の平均正答率は72.3%で、昨年度(70.9%)より1.4%増加したが、目標の+2%には至らなかった。
- 校内調査「授業の内容はわかりやすく、興味や関心、学習意欲が高まるように工夫されている」に対して肯定的回答をした生徒の割合は91.3%、「学校は興味や関心が高まるような授業づくりに努めている」に対して肯定的回答をした保護者の割合は94.8%と、いずれも目標を大きく上回った。
- 全国体力・運動能力・運動習慣等調査の「体力合計点」において、男子は38.03で全国平均(41.86)より3.83ポイント下回った。女子については50.64で全国平均(47.37)より3.27ポイント上回っている。
- 校内調査「学校では、健康管理や体力向上に向けた取り組みを進めている」に対して肯定的回答をした生徒の割合は95.0%、「学校は、生徒の健康管理や体力向上に向けての指導に努めている」に対して肯定的回答をした保護者の割合は94.0%と、いずれも目標を上回った。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標～年度目標について

- 授業における学習用端末の活用は順調に進んでいるが、「授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の90%以上にする。」の目標については、まだまだ届いていない状況である。
- ICTを活用した研究授業を、全教科で実施し、教員が全員参加した研究協議会を実施した。
- 年次有給休暇を10日以上取得している教職員は、1月末現在で、32名中22名(68.8%)となっている。

学校園の年度目標

- 「ゆとりの日」を毎月1回設定して17時での退勤を進めてきた。
- 校内調査「学校では、ICT機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている」に対して肯定的回答をした生徒の割合は84.6%、同質問において肯定的回答をした保護者の割合は89.6%と、いずれも目標を上回った。

大阪市立横堤中学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかつた	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた
------	--	--

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】	
<p>全市共通目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 81%以上にする。 R5=80.3% ●前年度不登校生徒の改善の割合を前年度(68.8%)より増加させる。 改善とは… ①出席日数の増(学校内外で ICT 等を活用した学習活動をすることの出席認定を含む) ②ICT の活用による、本人・保護者と学校がつながる回数が増えた。 ③養護教諭、SC、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●校内調査において、「学校に行くのは楽しいと思う」の項目について肯定的回答をする生徒の割合を 80%以上にする。 ●校内調査において、「人の役に立つ人間になりたいと思います」の項目について肯定的回答をする生徒の割合が 75%以上にする。 ●全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について肯定的回答をする生徒の割合が 82%以上にする。 ●校内調査において、「学校では、よりよい集団生活が送れるように、様々な取り組みが行われている(生徒対象)」「学校は、様々な教育活動を通して、望ましい集団生活づくりに努めている(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答を、いずれも 85%以上にする。 ●校内調査において「私は、学校生活において定められたルールや規則、マナーを自ら進んで守っている(生徒対象)」「学校は、生徒に、ルールや規則、マナーを進んで守るように指導している(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答の割合を、いずれも 85%以上にする。 ●校内調査において、「学校は、教育活動の様子について、ホームページや通信等で積極的に情報発信している(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答の割合を 90%以上にする。 ●校内調査において、「学校は、いじめや暴力がない学校づくりに積極的に取り組んでいる(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答の割合を 80%以上にする。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【施策 1 安全・安心な教育環境の実現】《生活指導部》</p> <p>○いじめ、不登校生徒へ組織的・計画的に対応する。普段から生徒の様子を観察し、特に気になる生徒に対しては、家庭と連携をとりながら情報を共有し、早期発見・早期対応に努める。また、関係諸機関との連携を深める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●校内調査「学校は、雰囲気がよく、安心で充実した学校生活を送ることができ正在（生徒対象）」の項目において、肯定的な回答の割合を80%以上にする。 ●新たに不登校になった生徒数を昨年度（8名）より減少させる。 	A
<p>取組内容②【施策 1 安全・安心な教育環境の実現】《生活指導部》</p> <p>○普段から生徒の悩みや相談等に丁寧に応じる。学期ごとに教育相談を行い、学校生活や友人関係、部活動等について、生徒の様子を把握し、情報共有を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●校内調査「先生は、困ったことやわからないことがあると、相談にのってくれる（生徒対象）」の項目について、肯定的な回答の割合を85%以上にする。 ●校内調査「学校は、保護者や生徒の求めに対して、積極的に相談に応じている（保護者対象）」の項目について、肯定的な回答の割合を75%以上にする。 	A
<p>取組内容③【施策 1 安全・安心な教育環境の実現】《生活指導部》</p> <p>○鶴見警察署等の外部機関を活用し、スマートフォン、インターネット、SNS等の使用に関する指導を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●鶴見警察と連携し、情報モラルに関する指導を1回以上実施する。 	B
<p>取組内容④【施策 1 安全・安心な教育環境の実現】《健康教育部》</p> <p>○清掃活動の推進と美化意識を養い、美化委員会活動で啓発する。また、地域・PTA活動と協力した地域美化活動を継続的に実施する。</p> <p>○地震・火災等の発生に備え、計画的に防災・減災教育を実施する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●校内調査「私は、清掃活動、整理整頓をしっかりと行い、校内美化や学習環境の整理に努めている（生徒対象）」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。 ●地域・PTA活動と協力した地域美化活動を、年1回以上実施する。 ●地震・火災等を想定した避難訓練を2回以上実施する。 	A
<p>取組内容⑤【施策 2 豊かな心の育成】《人権特別支援教育委員会》</p> <p>○3年間を見通した系統的・計画的な人権教育を推進し、「特別の教科 道徳」をはじめとして年間指導計画に基づき、指導方法等について実践研究を進める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●校内調査「私は、友だちを大切にし、ともに喜び、感動し、共感できるような関係づくりを行っている（生徒対象）」「私は、人に対して思いやりの気持ちを持ち、仲間と協力して行動している（生徒対象）」のそれぞれの項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。 	A

取組内容⑥【施策2 豊かな心の育成】《教務部》

○3年間を見通した体系的・系統的なキャリア教育を推進する。キャリア教育の目標を明確にするとともに、体験的活動や進路指一導等、生徒の発達段階に応じた指導内容を充実させる。地域資源や外部の人材を活用し、多様な人々から学ぶ機会を設ける。

指標

- 各学年で1回以上、キャリア教育を行う。
- 校内調査「学校では、職業や進路について学んだり、考えたりする機会がある（生徒対象）」の項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。
- 校内調査「学校は、将来の進路や職業について学ぶ機会を積極的に設けている（保護者対象）」の項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。

A

年度目標の達成状況や取り組みの達成状況

- ①月に1回いじめアンケートを実施し、情報共有や相談ボタンの活用など、いじめの早期発見、早期対応に努めた。校内調査「学校は、雰囲気がよく、安心で充実した学校生活を送ることができ正在」に対して肯定的回答をした生徒の割合は92.1%であり、目標を大きく上回った。また、新たに不登校になった生徒数は2名で、昨年度(8名)より減少し、目標を上回った。
- ②教育相談を学期ごとに行い、生徒の悩みや相談等に応じた。また、保護者への連絡もミマモルメを利用しながら、密に行うことができた。校内調査「先生は、困ったことやわからないことがあると、相談にのってくれる」に対して肯定的回答をした生徒の割合は93.3%であり目標を大きく上回った。また、「学校は、保護者や生徒の求めに対して、積極的に相談に応じている」に対して肯定的回答をした保護者の割合は97.2%と目標を大きく上回った。
- ③GREE株式会社の方による情報モラル教育、「正しく怖がるインターネット」を全学年対象で行うことができた。また、鶴見警察署の方による、交通安全教室も全学年対象で行うことができた。今後も、鶴見警察署等の外部機関との連携を行っていく。
- ④校内調査「私は、清掃活動、整理整頓をしっかりと行い、校内美化や学習環境の整理に努めている」に対して、肯定的な回答をした生徒の割合が86.3%と目標を達成できた。また、地域・PTA活動と協力した地域美化活動を実施し、たくさんの生徒が参加した。避難訓練では、地震・津波、火災を想定した避難訓練をそれぞれ1回ずつ実施した。どちらも、生徒には告知せず急な対応を身に着けさせることができた。また、今年度から災害に関する資料や振り返りアンケートを使って防災意識を高める時間を作ることができた。
- ⑤1年生では12月にキャリア教育に関する授業、2年生では10月にキャリア教育に関する授業、11月に職場体験を実施した。3年生では1年を通して進路学習を行い、7月に高校出前授業を実施した。また、校内調査「学校では、職業や進路について学んだり、考えたりする機会がある」に対して、肯定的回答をした生徒の割合が93.7%であり、「学校は、将来の進路や職業について学ぶ機会を積極的に設けている」に対して、肯定的回答をした保護者の割合が88.8%となり、いずれも目標を達成することができた。

次年度への改題や改善点

- 来年度も、避難訓練後には防災意識を高める取り組みを行っていく。今年度は昼休みを想定した避難訓練を実施できので、今後も時間帯や想定を変えていきたい。
- SNSでのトラブルが多発しているので、鶴見警察署等の外部機関と連携を図り、更なる指導を行っていきたい。
- 不登校生徒が登校できるよう、様々な形での働きかけや支援を行っていく。
- 体験的活動や進路指導等については、生徒の発達段階に応じた指導内容を3年間で系統的に進められるように、指導案等の統一を図っていき、充実したキャリア教育を推進していきたい。

大阪市立横堤中学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
------	--	--

年度目標	達成状況
【未来を切り拓くための学力・体力の向上】 全市共通目標 <ul style="list-style-type: none"> ●中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対応比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より <u>0.05 ポイント</u>向上させる。 R 5⇒2年 : 【国語】1.08 【数学】1.15 3年 : 【国語】1.13 【数学】1.17 ●大阪市英語力調査におけるC E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合（4技能）を <u>71%以上</u>にする。R5=70.1% ●年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きである」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を <u>60%以上</u>にする。R5=59.5% 	B
学校園の年度目標 <ul style="list-style-type: none"> ●全国学力・学習状況調査の国語における思考・判断・表現に関する項目の平均正答率を前年度(63.1%)より 2%増加させる。 ●校内調査において、「授業の内容はわかりやすく、興味や関心、学習意欲が高まるように工夫されている(生徒対象)」「学校は、興味や関心が高まるような授業づくりに努めている(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答の割合をいずれも 80%以上にする。 ●「全国体力、運動能力・運動習慣調査」における体力合計点を全国平均以上にする。 ●校内調査において、「学校では、健康管理や体力向上に向けた取り組みを進めている(生徒対象)」「学校は、生徒の健康管理や体力向上に向けての指導に努めている(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答の割合をいずれも 75%以上にする。 	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容① 【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】《教務部》 <ul style="list-style-type: none"> ○各教科で「シラバス(年間計画の概要)」を作成し、生徒や保護者に授業計画や評価方法等を示す。シラバスを活用して、学習目標や学習の見通しを持たせ、主体的に学ぶ態度を養う。 	A
指標 <ul style="list-style-type: none"> ●校内調査「学校は、学力向上のためにいろいろと工夫した教育活動を行っている(生徒対象)」の項目において、肯定的な回答の割合を 85%以上にする。 ●校内調査「学校は、家庭での学習習慣が定着するように、適切な指導を行っている(保護者対象)」の項目において、肯定的な回答の割合を 80%以上にする。 	

<p>取組内容②【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】《教務部》</p> <p>○生徒の読解力や言語能力を高めるとともに、読書習慣の定着を図るために、「朝の読書活動」に取り組む。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全学年で、「朝の読書活動」を週2日以上実施する。 ●図書室の本の一人あたりの貸出総数を昨年度より増加させる。 	B
<p>取組内容③【施策5 健やかな体の育成】《健康教育部》</p> <p>○規則正しい生活として、時間の3点固定（起きる時間・寝る時間・勉強する時間）を確立させる。生徒の保健委員会を活用し、啓発に努める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●校内調査「私は規則正しい生活を心がけ、睡眠時間や学習時間をバランスよくとっている（生徒対象）」の項目において、肯定的な回答の割合を75%以上にする。 	A
<p>取組内容④【施策5 健やかな体の育成】《健康教育部》</p> <p>○「保健だより」や「朝ごはんウィーク」「ヘルシーウィーク」の取り組みを実施し、生徒の基本的生活習慣を確立させる。生徒の保健委員会を活用し、啓発に努める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●校内調査「学校では、健康管理や体力向上に向けた取り組みを進めている（生徒対象）」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。 	A
<p>取組内容⑤【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】《教務部》</p> <p>○小中が連携した教育活動を推進する。教員が小学6年生を対象とした部活動体験（小中交流会）を実施する。</p> <p>○小中の全教員が集う「小中連携会議」を開催する。9年間を見通した系統立てた教育を進めていくうえの成果や課題を共有し、小中連携をさらに深める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小中連携担当者会議を、学期に1回以上実施する。 ●全教員が集う「小中連携会議」を1回以上実施する。 ●小中合同の避難訓練を実施する。 ●小中交流会において、小学6年生対象の部活動体験を実施する。 	B

年度目標の達成状況や取り組みの達成状況	
①校内調査「学校では、学力向上のためにいろいろと工夫した教育活動をおこなっている」に対して、肯定的回答をした生徒の割合が91.7%となった。また、「学校は、家庭での学習習慣が定着するように、適切な指導を行っている」に対して、肯定的回答をした保護者の割合が87.3%となり、いずれも目標を大きく上回った。	
②各学年で「朝の読書活動」を週2日以上実施している。一人あたりの貸出総数は12月末時点では昨年度は4.0冊、今年度は3.5冊で目標を達成できなかった。	
③校内調査「私は規則正しい生活を心がけ、睡眠時間や学習時間をバランスよくとっている」に対して、肯定的な回答をした生徒の割合が昨年度66.6%で達成できなかつたが、今年度は9.7%増加し76.3%と目標を達成できた。	
④校内調査「学校では、健康管理や体力向上に向けた取り組みを進めている」に対して、肯定的	

な回答をした生徒の割合が 95.0%と目標を達成できた。

⑤ 1 学期は小中合同の避難訓練と小中連携担当者会議を実施した。2 学期は全教員が集う小中連携会議、3 学期は小中交流会において、小学 6 年生対象の部活動体験を実施できた。3 学期の小中連携会議は実施予定である。

次年度への改題や改善点

- 来年度もシラバスを作成し、生徒や保護者に授業計画や評価方法等を示すことで、生徒に主体的に学ぶ態度を養わせていくたい。
- 来年度も各学年での「朝の読書活動」の実施を継続的に行うことで、読書習慣の定着をより進めていくたい。また、来年度も引き続き図書室の利用を呼びかけていくたい。
- 規則正しい生活習慣の習得や健康管理、体力向上のために、今後も保健委員会を中心とした「朝ごはんウィーク」や「ヘルシーウィーク」を通して、生徒への啓発活動に取り組む。
- 来年度も、小中連携の実施内容の精選を行いつつ、小中連携をより深めていくたい。

大阪市立横堤中学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかつた	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた
------	--	--

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標 ●授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の90%以上にする。(ただし、学校行事等ICT活用が適さない日数を除く) ●年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。	B
学校園の年度目標 ●ゆとりの日を月に1回以上設定して実施する。 ●校内調査において、「学校では、ICT機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている(生徒対象)」「「学校では、ICT機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている(保護者対象)」の項目について、肯定的な回答の割合をいずれも80%以上にする。	達成状況
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【施策6 教育DXの推進】《教務部》 ○ICT機器等を活用し、生徒が互いに学び合う協働的な学びや思考力・判断力・表現力を育成する言語活動を充実させる。授業の質を向上させ、「自分で考え判断する力」「自分の考えを豊かに伝える力」「ICT機器を活用する力」を備えた21世紀をたくましく生き抜く生徒を育成する。	B
指標 ●校内調査「学校では、ICT機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する機会が設けられている(生徒対象)」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。	B
取組内容②【施策6 教育DXの推進】《教務部》 ○カリキュラム・マネジメントや授業改善、配慮を要する生徒への理解、事務関係等、テーマを決めた研修会を実施する。	B
指標 ●全教員が参加する研修会を、年3回以上実施する。	
取組内容③【施策7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】《教務部》 ○組織的な業務の効率化を図り、教職員がチームとなり学校運営を行う。役割を細分化して働き方改革を進める。	B
指標 ●「ゆとりの日」を月1回以上設定し、長時間勤務の解消を行う。	

<p>取組内容④【施策8 生涯学習の支援】《教務部》</p> <p>○図書館の整備を充実させ、読書に親しむ習慣を身に着けさせるとともに、朝の短時間による読書活動を推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和6年度「全国学力・学習状況調査」の「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）」の項目に対して、100冊以上の回答の割合を20%以上にする。 	B
<p>取組内容⑤【施策9 家庭・地域と連携・協働した教育の推進】《教務部》</p> <p>○地域と連携した教育活動を行う。横堤校区の地域行事や地域有能人材、教育資源等を結び付けた学年の取り組みを実施する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●校内調査「学校は地域とのつながりを大切にし、地域と連携した取り組み等を積極的に実施している（保護者対象）」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。 	A

年度目標の達成状況や取り組みの達成状況	
<p>①校内調査「学校では、ICT機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている」に対して、肯定的回答をした生徒の割合が84.6%となり、目標を達成することができた。</p> <p>②校内研究授業後の研究協議を6月、9月、1月に実施できた。また、7月に救急救命講習会、9月に全教員が集う小中連携会議を実施した。</p> <p>③「ゆとりの日」を月1回以上設定し、退勤時間を意識した勤務を推進している。</p> <p>④令和6年度「全国学力・学習状況調査」の「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）」の項目に対して、100冊以上の回答をした生徒の割合が23.9%となり、目標を達成することができた。</p> <p>⑤校内調査「学校は、地域とのつながりを大切にし、地域と連携した取り組み等を積極的に実施している」に対して、肯定的回答をした保護者の割合が88.1%となり、目標を大きく上回った。</p>	次年度への改題や改善点
次年度への改題や改善点	
<ul style="list-style-type: none"> ●来年度もICT機器等を活用し、生徒が互いに学び合う協働的な学びや思考力・判断力・表現力を育成する言語活動を充実させたい。 ●来年度も全教員が参加する研修会を滞りなく実施することで、授業改善や情報の全体共有を図っていきたい。 ●来年度も継続して「ゆとりの日」を設定していきたい。 ●来年度も図書館の整備の充実と朝の読書活動をより一層推進させて、読書に親しむ習慣を身に付けるような取り組みを行っていきたい。 ●来年度も地域と連携した教育活動を行っていきたい。 	
15	

〈資料〉 令和6年度 学校評価アンケート

【生徒対象】

1. 学校は、雰囲気がよく、安心で、充実した学校生活を送ることができている。
2. 学校では、学力向上のためにいろいろと工夫した教育活動を行っている。
3. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
4. 私は、学校に行くのは楽しいと思う。
5. 学校では、よりよい集団生活が送れるように、様々な取り組みが行われている。
6. 授業の内容はわかりやすく、興味や関心、学習意欲が高まるように工夫されている。
7. 私は、授業で出される宿題や予習・復習など、自主的な学習に積極的に取り組んでいる。
8. 私は、学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
9. 学校では、ICT 機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている。
10. 先生は、困ったことやわからないことがあると、相談にのってくれる。
11. 私は、学校生活において、定められたルールや規則、マナーを自ら進んで守っている。
12. 私は、学校行事や部活動、委員会活動、係活動などに積極的に参加している。
13. 私は、友だちを大切にし、ともに喜び、感動し、共感できるような関係づくりを行っている。
14. 私は、ふだん、挨拶することや時間を守ること、服装を正すことができている。
15. 私は、人に対して思いやりの気持ちを持ち、仲間と協力して行動している。
16. 私は、人の役に立つ人間になりたいと思います。
17. 学校では、職業や進路について学んだり、考えたりする機会がある。
18. 私は、規則正しい生活を心がけ、睡眠時間や学習時間をバランスよくとっている。
19. 私は、清掃活動・整理整頓をしっかりと行い、校内美化や学習環境の整備に努めている。
20. 学校では、健康管理や体力向上に向けた取り組みを進めている。
21. 私は、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きである。
22. 私は、横堤中学校に入学してよかったです。

【保護者対象】

1. 生徒は、楽しく、充実した学校生活を過ごしている。
2. 学校は、教育活動の様子について、ホームページや通信等で積極的に情報発信している。
3. 学校は、家庭での学習習慣が定着するように、適切な指導を行っている。
4. 学校は、話を聞く力や正しい言葉づかいで話すような指導を行っている。
5. 学校は、様々な教育活動を通して、望ましい集団生活づくりに努めている。
6. 学校は、興味や関心が高まるような授業づくりに努めている。
7. 生徒は、学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
8. 学校では、ICT 機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている。
9. 学校は、保護者や生徒の求めに対して、積極的に相談に応じている。
10. 学校は、生徒に、ルールや規則、マナーを進んで守るように指導している。
11. 生徒は、学校行事や部活動、生徒会・委員会活動などに積極的に参加している。
12. 学校は、いじめや暴力がない学校づくりに積極的に取り組んでいる。
13. 学校は、生徒に、挨拶することや時間を守ること、服装を正すように指導している。
14. 学校は、生徒に人権を尊重する意識や態度を育てようとしている。
15. 学校は、将来の進路や職業について学ぶ機会を積極的に設けている。
16. 学校は、進路に関して、家庭への情報提供に努めている。
17. 学校は、生徒に基本的な生活習慣や学習習慣が身に付くように指導している。
18. 学校は、地域とのつながりを大切にし、地域と連携した取り組み等を積極的に実施している。
19. 学校は、校内美化や学習環境の整備、清掃指導に努めている。
20. 学校は、生徒の健康管理や体力向上に向けての指導に努めている。